

受付

8:30- 明治大学アカデミーコモン 1F

ACA 9/13 9:00-9:45



## 開会式 (同時通訳付)

明治大学アカデミーコモン 3F アカデミーホール

ごあいさつ

- ・ジャハンギール・カン S.M. Jahangir Khan (アルカジア会長)
- ・六鹿正治 (公益社団法人日本建築家協会会長)
- ・土屋恵一郎 (明治大学学長 予定)
- ・国土交通省
- ・東京都

ACA 9/13 10:00-12:00



## テーマセッション1

# Simplicity | Design (同時通訳付)

明治大学アカデミーコモン 3F アカデミーホール

基調講演 1 10:00-11:00

テーマプレゼンテーション1 Design 11:00-12:00

キーノートスピーカー:

カイ・ウーヴェ・バーグマン

Kai-Uwe Bergmann / Bjarke Ingels Group (BIG)



プレゼンター:

手塚貴晴 (手塚建築研究所)



プレゼンター:

ラフィク・アザム  
Rafiq Azam (バングラデッシュ)



プレゼンター:

エレナ・ジャミル  
Eleena Jamil (マレーシア)

ACA 9/13 12:00-12:30

## 建築未来展オープニング

明治大学アカデミーコモン2F・ビクトリーフロア

JIA建築家大会に登録された方は、★のACA18プログラムに参加できます。

ACA 9/13 13:30-15:30



明治大学アカデミーコモン 3F アカデミーホール

## テーマセッション2

# Multiplicity | City (同時通訳付)

基調講演 2 13:30-14:30

テーマプレゼンテーション2 City 14:30-15:30

キーノートスピーカー:

榎文彦 (榎総合計画事務所)



司会/プレゼンター:

小林正美 (明治大学都市建築デザイン研究室)



プレゼンター:

ヘン・チャイ・キャン  
Heng Chye Kiang (シンガポール)



プレゼンター:

キャロライン・ボス  
Caroline Bos (オランダ)

ACA 9/13 15:50-16:30



明治大学アカデミーコモン 3F アカデミーホール

## テーマセッション3

# Multiplicity | Technology (同時通訳付)

テーマプレゼンテーション3 Technology 15:50-16:30



司会:

櫻井伸 (株式会社 久米設計)



プレゼンター:

新谷耕平 (株式会社 日建設計)

題名: 「東京スカイツリー - 免震技術」



プレゼンター:

清水正人  
(株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所)

題名: 「東京駅復元 - 使われ続けられる文化財」

ACA 9/13 18:00-22:00

## Friendship Night (フレンドシップナイト)

ホテルニューオータニ東京

JIA建築家大会に登録された方は、★のACA18プログラムに参加できます。

ACA 9/14 9:00-12:00 ★

明治大学アカデミーコモン 3F アカデミーホール

テーマセッション4

## SDGs / 持続可能な開発目標

(同時通訳付)

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。

基調講演 3

9:00-10:00

ショートトークセッション

10:00-12:00



キーノートスピーカー：  
**ヤスミン・ラリ**  
Yasmeen Lari (パキスタン)

建築家・建築史家・文化遺産保存活動家・人道支援活動家 (パキスタン・ヘリテージ財団共同創設者・会長)



ファシリテーター：  
小原愛 (一般社団法人 Japan Innovation Network)



プレゼンター：  
坂田泉 (OSAジャパン)



プレゼンター：  
スディール・バラクリシュナン・ピライ  
Sudhir Balakrishnan Pillai (インド)



プレゼンター：  
宇津野玉恵 (株式会社 Loop 海外事業部)



プレゼンター：  
ヴィパヴィ・クナヴィチャヤノン  
Vipavee Kunavichayanont (タイ)



プレゼンター / クロージングリマーク：  
岩村和夫 (岩村アトリエ)

ヤスミン・ラリ氏は、パキスタン初の女性建築家として多くの現代建築を手がける一方、パキスタン・ヘリテージ財団を創設し、歴史的建造物の保存と修復活動を行ってきた。

2005年パキスタン大地震の際に開始した被災者支援プログラムを契機に人道支援活動へも力を注ぎ、同国における社会文化活動の先駆的な女性リーダーとして、歴史遺産保護と災害に強い社会づくりにおいて極めて重要な役割を果たしている。

1969年王立英国建築家協会メンバーに選出され、パキスタン建築家協会会長、パキスタン建築家・都市設計家協議会初代会長を歴任し、同国における現代建築と都市開発に大きな影響を与えた。

1980年パキスタン・ヘリテージ財団を創設し、同国の歴史的建造物や文化遺産を数多く保護してきた。同国の文化財の再発見・再評価と保存に大きな役割を果たしている。

2005年パキスタン大地震の復興に向けて、被災者支援プログラムを開始し、これを機に人道支援活動も手掛けるようになる。

さらに国連防災世界会議をはじめ、さまざまな国際会議の招待パネリストとしても被災地における建設・開発と文化遺産保護のあり方について重要な発言を重ねており、2015年第1回シカゴ・ビエンナーレ国際建築展では国内避難民キャンプの低コスト住宅プロジェクトを出展し世界的な注目を集めた。

ACA 9/14 12:00-12:30 ★

明治大学アカデミーコモン 3F アカデミーホール

ACA18 TOKYO 閉会式・引継式

A-1

9/14 13:00-15:30

明治大学アカデミーコモン 3F アカデミーホール

## 基調講演 4 / メインシンポジウム

# 素なることと多様な相

SIMPLICITY | MULTIPLICITY

本大会の基調講演は、世界的に活躍する建築家・藤本壮介氏と、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のエンブレム作者であるアーティスト・野老朝雄氏をお迎えします。大会テーマである「素なることと多様な相」を受け、クリエイティブな作品を生み出す思考の根源に触れる話をお聞きできればと思います。後半は建築史家・建築評論家である五十嵐太郎氏にモデレーターとしてご登壇いただき、建築と都市、アートとデザインの未来について、縦横に議論を展開していただきます。

基調講演者：

藤本壮介 (建築家)  
野老朝雄 (アーティスト)

シンポジウムモデレーター：

五十嵐太郎 (建築史家・建築批評家)

テーマ：「Simplicity | Multiplicity」～素なることと多様な相～



藤本壮介 Sousuke Fujimoto  
建築家

1971年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、2000年藤本壮介建築設計事務所を設立。2014年フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞、2015年パリ・サクレ・エコール・ポリテク ニーク・ラーニングセンター国際設計競技最優秀賞につぎ、2016年 Réinventer Paris 国際設計競技パルトマイヨ・パーシング地区最優秀賞を受賞。



野老朝雄 Asao Tokolo  
アーティスト

1969年東京生まれ。幼少時より建築を学び、江頭慎に師事。2001年9月11日より「繋げる事」をテーマに紋様の制作を始め、美術、建築、デザインの境界領域で活動を続ける。単純な幾何学原理に基づいて定規やコンパスで再現可能な紋と紋様の制作や、同様の原理を応用した立体物の設計・制作も行っている。2016年～東京大学工学部非常勤講師、東京造形大学客員教授。2017年～筑波大学非常勤講師。



五十嵐太郎 Taro Igarashi  
建築史家・建築批評家

1967年生まれ。1992年、東京大学大学院修士課程修了。博士(工学)。現在、東北大学大学院教授。あいちトリエンナーレ2013芸術監督、第11回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展日本館コミッショナー、「窓学展示ー窓から見える世界ー」の監修を務める。第64回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。

A-2 9/14 15:30-17:00

アカデミーコモン10F・310G

## JIA保存再生会議年次フォーラム

JIA大会時に、全国の委員と一般参加者が直接顔を合わせて行なう恒例のJIA保存再生会議年次フォーラムです。全国の委員からの活動報告と、1年間の組織としての総括フォーラムになり、一般からも参加して頂き、例年、会長、専務理事、修復塾、文化財ドクターユニット、近現代調査ユニットからの参加もお願いし、活動内容の確認と意見交換を目指し、有効な意見交換を目指します。保存再生活動の「連携」と「集約」の全国会議のミッションを担いたいと考えています。

A-4 9/14 15:30-17:00

アカデミーコモン10F・310H

## JIA環境会議

JIA環境会議は全国10支部環境委員会と連携し、地球環境負荷を最小化するという時代の要請にこたえつつ、地域の風土・文化を尊重した豊かな建築・都市の実現を目指して活動を続けています。また、JIAが目指すべき環境建築の未来について議論を重ねています。このたびの環境会議は、各支部で環境に関わる活動を行う会員が集まり、今後の方向性を議論し共有する場です。JIA会員公開ですので、ぜひ参加して議論に加わってください。



小玉 祐一郎

A-6 9/14 15:30-17:00

アカデミーコモン10F・310L

## 全国まちづくり会議ミーティング

建築・都市・まちづくりに関する全国会議です。各委員から「良質な建築・美しいまちづくりの仕組萌芽事例シート」をもとに、各支部、地域会の活動報告を行い、意見交換を行います。



A-3 9/14 15:30-17:00

アカデミーコモン10F・310K

## 全国災害対策会議ミーティング

JIA災害対策全国会議は年に8回ほど開催されていますが、毎回WEBで行われており、この全国大会での会議は年に一度の対面会議であり委員全員が集まる大変貴重な機会となっています。委員以外でもご興味のある方は是非ご参加ください。

A-5 9/14 15:30-17:00

アカデミーコモン10F・310J

## 全国住宅部会連絡会議

全国10支部で各々活動している住宅部会（住宅委員会）が定例的に開催する集合型会議です。各地域の状況や課題、問題点などを共有し意見交換を行う一方、大会テーマに即した視点で、住宅およびJIA建築家の今後を探ります。

A-7 9/14 18:00-20:00

グラントハイアット東京（六本木）

## 大会式典・レセプションパーティー

大会レセプションパーティーは、グローバル感溢れる東京・六本木のランドマーク「六本木ヒルズ」に集合です。ラグジュアリーホテルとして名高い「グラントハイアット東京」にて大会式典を兼ねて盛大に開催いたします。会場となる同ホテル最大のバンケットホール「GrandBallroom」に東京大会と連続開催のACA18Tokyoからの参加者も含め800人が集い国際色豊かな懇親の機会として期待しています。

### プログラム

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1. 開会       | 7. 乾杯           |
| 2. 主催者挨拶    | 8. 歓談(祝電披露)     |
| 3. 来賓挨拶     | 9. 次回大会PR(東北支部) |
| 4. 来賓紹介     | 10. お礼挨拶        |
| 5. 名誉会員紹介   | 11. 閉会          |
| 6. フェロー会員紹介 |                 |



A-8 9/14 20:30-23:00

BIRD LAND（六本木）

## JIAバンドパーティー on JIA建築家大会

建築家たるもの、芸の一つや二つということで、全国から集まったミュージシャン、ではなく建築家達が、楽しく賑やかに演奏を繰り広げます。えっ！あの元支部長、歌うの？この人、演奏するの？踊っちゃうの？加えて、ACA18併催ですから海外の方も登場予定！

Friday night、レセプションパーティー後、ワイン片手にスイングしながらの2次会はいかがですか！パーティー会場から徒歩9分、六本木駅から徒歩数分の東京タワーを眺められるエレガントなライブ会場（収容人数100名超）です。

会費：4,000円（海外の方は半額）1ドリンク＆食事付き  
追加ドリンクは500円

直接、会場受付でお支払（現金のみ）下さい

会場：BIRDLAND（レセプションパーティー会場より徒歩9分）  
港区六本木3-13-14ゴトウビル3rd-5階

出演バンド：knockin' On Shikoku's door、トゥーホークシップ、  
URBAND、すこ〜いバンド、The Cabaret



受付

8:30- 明治大学アカデミーコモン 1F

**B-1** 9/15 9:00-12:00

明治大学アカデミーコモン 3F アカデミーホール

## 地域ポテンシャルを活かす／ストックの再評価

### 全国会議（環境・保存・災害・まちづくり）合同シンポジウム

地域のポテンシャルを活かすことは、既存のストックすなわち、街や建物、人や文化、歴史を活かすことであり、それには、新たな捉え方や方法が求められます。これを具体的にドライブするためには、環境、保存再生、災害、まちづくりの分野横断的な視点で深堀することが大切です。このシンポジウムでは「仕組、技術、作品」を手がかりに論を深め、実践において建築家の能力をどのように活かしていくか、を浮き彫りにします。

**コメンテーター：**  
塚本由晴、大島芳彦

**登壇：**安田幸一  
彦根アンドレア  
篠田義男  
倉方俊輔  
松下督  
今野照夫  
松下昭



塚本 由晴



大島 芳彦

**B-2** 9/15 9:00-13:00

会員対象

リバティタワー 1155教室

## 法人協力会員サミット

毎年、全国大会に合わせて開催されており、各支部の協力会員（JIAを構成する会員種別のひとつで、本会の目的に賛同する法人及び個人）の情報交換の場として開催しております。今回は、『JIAと強くなる』をテーマに議論できればと考えています。



**B-3** 9/15 9:00-12:15

会員対象

アカデミーコモン10F・310J

## 全国地域会長会議

公益事業の最前線を担う地域会活動の一助とする為、全国各地の地域会長が一堂に会し、議論を交わし、理解を深める場です。今年は「交流」をメインテーマに、幾つかの切り口で複数のグループに別れて議論を行います。地域社会、行政、他地域、国際…など、それぞれの地域会活動には様々な「交流」事業が行われています。それぞれの知見を持ち寄り、議論を深めることで、より良い活動のきっかけを掴んでいただければと思います。



**B-4** 9/15 10:00-12:00

アカデミーコモン10F・310C

## JIA25年賞シンポジウム 「25年賞ウラ話」

25年賞は他の建築団体にはないユニークな賞であり、建築家ではなく建築そのものを顕彰する賞です。毎年、ヴィンテージの味わいのある優れた建築が選ばれていて、その街に風格を与えています。この賞の意義を今一度見つけ、この時代に相応しい建築のあり様を去年の審査員（田村誠邦氏、大森晃彦氏、福島加津也氏の三氏）に自由討論していただきます。

**B-6** 9/15 10:00-12:00

アカデミーコモン10F・310G

## ～貴重な歴史文化遺産を引き継ぐ～ 「気仙沼風待ち復興検討会」の 「登録文化財」建物との取り組み

宮城県気仙沼「風待ち」と呼ばれる港町の美しいまちなみは、2011年の東日本大震災で大きな被害を受けましたが、「風待ち復興検討会」が「登録有形文化財」建築の喪失をくい止めました。その活動と「登録有形文化財制度」の可能性を探ります。

**パネリスト：**  
（一社）気仙沼風待ち復興検討会事務局 幡野寛治  
文化庁 文化財調査官 梅津章子  
尾道空き家再生プロジェクト 渡邊義孝

**モデレーター：**  
再生部会 大橋智子



**B-5** 9/15 9:00-12:15

アカデミーコモン8F・308F

## JIA-KIT建築アーカイブス会議フォーラム 「偉大な先輩建築家に学ぶV」

大会会場となる明治大学建築学科にゆかりのある建築家が、どのように地域、文化を考え、その作品を作り上げていったかということ、建築家の後継者、研究者より語っていただき、偉大な建築家の教えを学びます。

**パネリスト（予定）：**  
青井哲人（明治大学） 一神代雄一郎の思想  
岩橋幸治（早川正夫建築設計事務所） 一堀口捨己の思想

**司会：** 竺覚暁（金沢工業大学教授）  
**趣旨説明：** 仙田満（環境デザイン研究所会長）

**B-7** 9/15 9:30-11:00

アカデミーコモン10F・310H

## 世界から見た日本の建築家資格制度

世界の代表的な建築家制度のいくつかを概観し、日本の設計監理の国家資格が「技術者資格」である点の特異性を再認識しつつ、今後の道すじ、仕組みの工夫を考える。中でも、依頼者保護における技術資格と職能資格との差の部分を日本の職能団体の自治で代替できるのか否か、職能の個人責任範囲をどのように見定めるか、資格問題の本質を探ります。

**B-8** 9/15 9:00-10:30

会員対象

アカデミーコモン10F・310L

## 建築相談全国会議

建築相談全国会議は全国各支部で活動している建築相談委員会の連絡会議です。会議ではそれぞれの地域の活動状況の情報交換を行い、また全国会議の活動方針などについて話し合います。委員以外の参加予定はありませんが、興味ある方のオブザーバー参加を歓迎します。

## 「大井町駅前パブリックスペース設計コンペ」 公開二次審査

「公共建築の実績がないと、挑戦すらできない」という悪循環は、将来的な経験者不足、発注側の選択肢の減少を招き、多様性・公益性の面でも社会にとって不利益です。次代の建築家には、公共への入口という希望を、他の自治体には同様の公共建築コンペ開催の機運を、JIA自体には発注者支援を行える職能団体としてのプレゼンスをいち早く内外に示すことを目的に、品川区の公共建築実施コンペ開催に協力し、その二次審査を公開します。

### <コンペ概要>

- ・東京都品川区主催の“公共建築”実施コンペ
- ・公衆便所の建て替えおよび周辺修景計画の基本・実施設計
- ・応募資格は一級建築士事務所であることのみ
- ・要項作成～審査～設計～監理の補助・レビューに JIA が協力



千葉学

武井誠

原田麻魚

### <審査員>

委員長：千葉学（建築家 東京大学教授 JIA 正会員）  
委員：武井誠（建築家 JIA 正会員）  
委員：原田麻魚（建築家 JIA 正会員）  
他 品川区職員

## JCCA×JIA 協働シンポジウム 誰が景観を創るのか？

建設コンサルタンツ協会美しい国づくり専門委員会と日本建築家協会都市・まちづくり委員会は、これまで「誰が景観を創るのか」をテーマに、協働でシンポジウムを計11回開催してきました。2月には両協会会長による4回目の対談が行われ、土木分野と建築分野の協働のためのプラットフォームづくりが必要という議論がなされました。第12回目となる今回は、サブテーマとして「多様性と融合」ということを掲げ、両分野の協働のあり方を議論します。

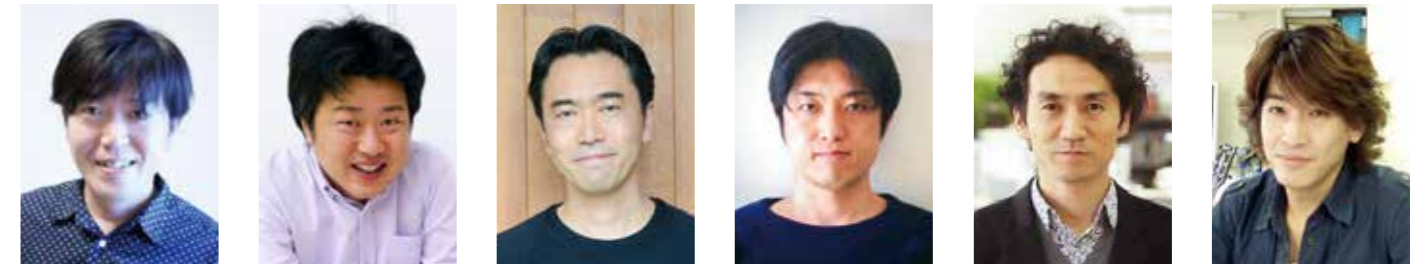
## 若手セッション+クロージングパーティー

全国大会最終日の最終時間帯に、大井町駅前の公共建築コンペ提出者やあかりコンペ提出者を含む、本大会の全ての参加者の懇親会と打上げを兼ねたクロージングパーティーが催されます。その開始前に、近未来研究特別委員でもある関東甲信越支部の40代メンバーが登壇し、建築家やJIAの今後について、公開で忌憚なく論じあうトークセッション。

今後の建築家のありかたや、次世代も期待の持てるJIAの組織改善のため、前半には若手が考えていることの紹介、後半には会員・非会員を問わず意見を受け付け、続くパーティだけでなく、後々の議論の参考になる、有意義な意見交換の場になればと考えています。

### <クロージングパーティー紹介>

大会の最後を締めるのは、建築家会館とJIA建築家クラブを使った、クロージングパーティーです。JIAでは恒例の生ハム（スペイン産）も登場いたします。手作りパーティーとして手打ちそばや旬な食材をご用意してお待ちしています。JIA会員もまだ会員でない方も一緒になって楽しみましょう。



井上宏

水越英一郎

小笠原正豊

羽鳥達也

西田司

相坂研介

## エクスカーショ 一継がれる建築家の意思—見学と解説 (主催：JIA文化財修復塾)

集合場所：東京文化会館1階ロビー

参加費：4000円（入館料、ガイド用イヤホン、資料含む）

定員：25名

### 第Ⅰ部:上野の山建築巡り 13:30~16:00

案内人：市川達夫（修復塾委員）

東京文化会館（設計：前川国男）-屋上のみ

黒田記念館（設計：岡田信一郎）

国際子ども図書館（設計：久留正道+真水英夫他、

改修設計：安藤忠雄+日建設計）

国立西洋美術館（設計：ル・コルビジエ）-外観のみ

旧東京音楽学校奏楽堂（設計：山口半六+久留正道）-外観のみ

その他

### 第Ⅱ部:旧岩崎邸（外壁改修中） 16:00~17:00

案内人：松井修一（旧岩崎邸庭園元センター長）

ジョサイア・コンドル設計の洋館、銘木が多く使われている和館、更に通常では入れない地下室や撞球室なども案内していただきます。

### 第Ⅲ部:国立近現代建築資料館 17:00~18:30

案内人:桐原武志（主任建築資料調査官）

2012年に設置された建築資料を扱うアーカイブ施設。日本の近現代建築に関する建築資料（図面等）について、劣化・散逸・海外への流出などを防ぐことを目的として、その調査・収集・保管・公開を推進しています。坂倉準三、大高正人、吉阪隆正等著名建築家の資料が収集されています。

9月9日に終了した展示「建築からまちへ1945-1970」を特別に公開していただきます。

### 第Ⅳ部 懇親会 19:00~20:30

上野駅周辺 会費4000円程度で検討中

展示 9/10 - 9/14

アカデミーコモン1F・展示スペース

## AAA 展 アルカジア 建築賞受賞作品展

展示 9/10 - 9/14

アカデミーコモン 8F・308F

## ACGSA 展 アルカジア 環境建築委員会展

展示 9/10 - 9/14

アカデミーコモン 8F・308F

## アルカジア学生コンペ展

展示 9/14 - 9/15

アカデミーコモン1F・展示スペース

## JIA2017各賞展示

2017年度の受賞作品を展示します。

<JIA 日本建築大賞>

道の駅まじこ（設計者：原田麻魚、原田真宏）

<JIA優秀建築賞>

・太子町新庁舎「太子の環」人がつどう・まちをめぐる・

太子がつながる（設計者：坂本 昭）

・コープ共済プラザ（設計者：羽鳥 達也）

<JIA 新人賞>

・東松山農産物直売所（設計者：馬場 兼伸）

・中出邸（設計者：近藤 哲雄）



JIA日本建築大賞「道の駅まじこ」  
(撮影北田英治)

展示 9/10 - 9/14

アカデミーコモン 8F・308F

## カントリーレポート展

アルカジア加盟20カ国によるカントリーレポートの展示

展示 9/10 - 9/14

アカデミーコモン 8F・308F

## ACSR 展 アルカジア 建築家の社会的責任委員会展

展示 9/13 - 9/14

アカデミーコモン 2F・ビクトリーフロア

## 建築未来展

日本の建築業界の総合力を示す展示

展示 9/14 - 9/15

アカデミーコモン8F・308E

## 第12回 建築家のあかりコンペ2018 作品展示

製品化の可能性がある LED照明プロダクトコンペです。毎年、柔軟な発想から生まれた新たな明かりが提案されています。今年のテーマは「見えないスタンド」。ここでは全応募作品の展示を行なっています。建築家が考える新たなあかりの未来。ぜひご覧ください。

公開2次審査：9/15 13:00～ 308Fにて

審査員：



手塚 貴晴



平田 晃久



羽鳥 達也



永山 祐子



面出 薫



前芝 辰二

展示 4/25 - 9/17

## 建築の日本展

### その遺伝子のもたらすもの

いま、世界が日本の建築に注目しています。丹下健三、谷口吉生、安藤忠雄、妹島和世など多くの日本人建築家たちが国際的に高い評価を得ているのは、古代からの豊かな伝統を礎とした日本の現代建築が、他に類を見ない独創的な発想と表現を内包しているからだといえないでしょうか。

日本は、明治維新からの150年間、大いなる建築の実験場でした。幾多の実践のなかで、日本の成熟した木造文化はいかに進化したのでしょうか。西洋は日本の建築にどのような魅力を見だし、日本建築はそれにどう向き合ったのでしょうか。日々の暮らしや自然観といった目に見えないものの変遷も日本の建築を捉える上で重要な要素となるはずで。

本展は、いま、日本の建築を読み解く鍵と考えられる9つの特質で章を編成し、機能主義の近代建築では見過ごされながらも、古代から現代までその底流に脈々と潜む遺伝子を考察します。貴重な建築資料や模型から体験型インスタレーションまで100プロジェクト、400点を超える多彩な展示によって、日本建築の過去、現在だけでなく、未来像が照らしだされることでしょう。

### 9つのセクション

会場は、以下の9つのセクションに分かれています。

1. 可能性としての木造
2. 超越する美学
3. 安らかなる屋根
4. 建築としての工芸
5. 連なる空間
6. 開かれた折衷
7. 集まって生きる形
8. 発見された日本
9. 共生する自然



丹下健三自邸1/3模型の 設置風景  
(撮影御厨慎一郎/画像提供森美術館)

森美術館



「9. 共生する自然」セクション 展示風景 (撮影来田 猛/画像提供森美術館)



「1. 可能性としての木造」セクション 展示風景 高い壁を有効に生かした展示デザイン  
(撮影:撮影:来田 猛/画像提供森美術館)

【主催】 森美術館

【後援】 一般社団法人日本建築学会  
公益社団法人日本建築家協会  
アルカジア東京大会2018

一般社団法人日本建築構造技術者協会  
一般社団法人日本デザイン学会

【監修】 藤森照信(建築家・建築史家/東京大学名誉教授)

【企画】 南條史生(森美術館館長)  
前田尚武(森美術館建築・デザインプログラムマネージャー)  
徳山拓一(森美術館アソシエイト・キュレーター)  
倉方俊輔(建築史家/大阪市立大学大学院工学研究科准教授)  
ケン・タダシ・オオシマ(建築史家/ワシントン大学教授)

【会期】 2018年4月25日(水)~9月17日(月・祝) 会期中無休

【開館時間】 10:00 ~ 22:00(最終入館 21:30)  
※火曜日のみ17:00まで(最終入館 16:30)

【会場】 森美術館(六本木ヒルズ森タワー 53階)

【料金】 一般・・・1,800円  
学生 (高校・大学生)・・・1,200円  
子供 (4歳~中学生)・・・600円  
シニア (65歳以上)・・・1,500円

※森ビル株式会社・森美術館の特別協賛により、  
大会登録者1名につき招待券1枚を配布します。